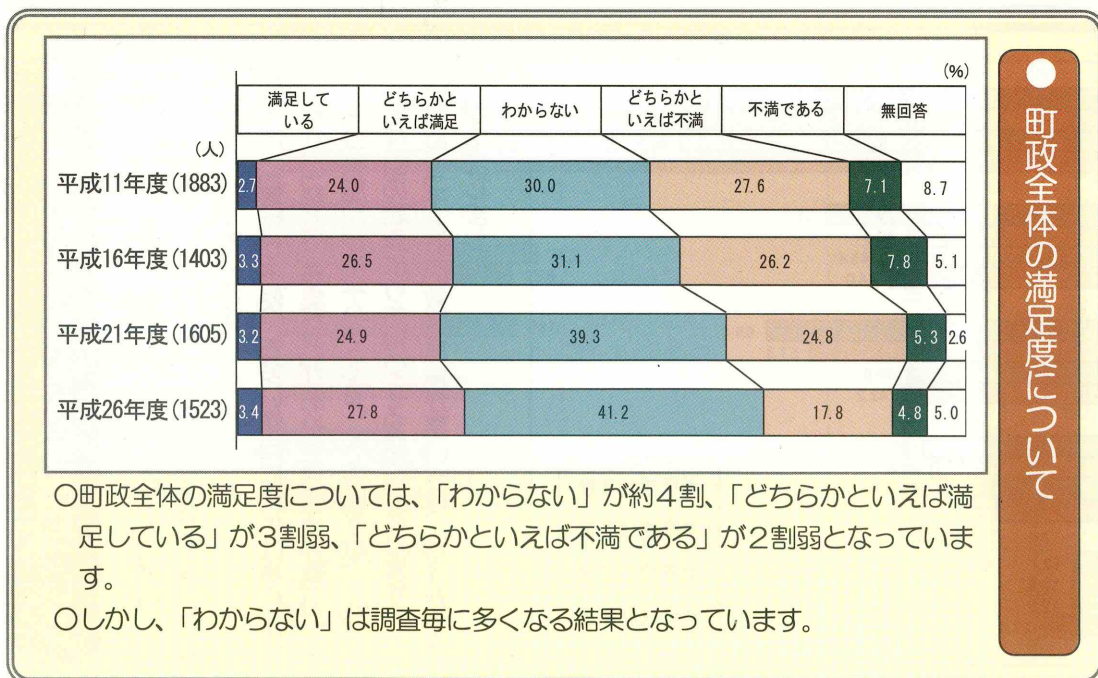
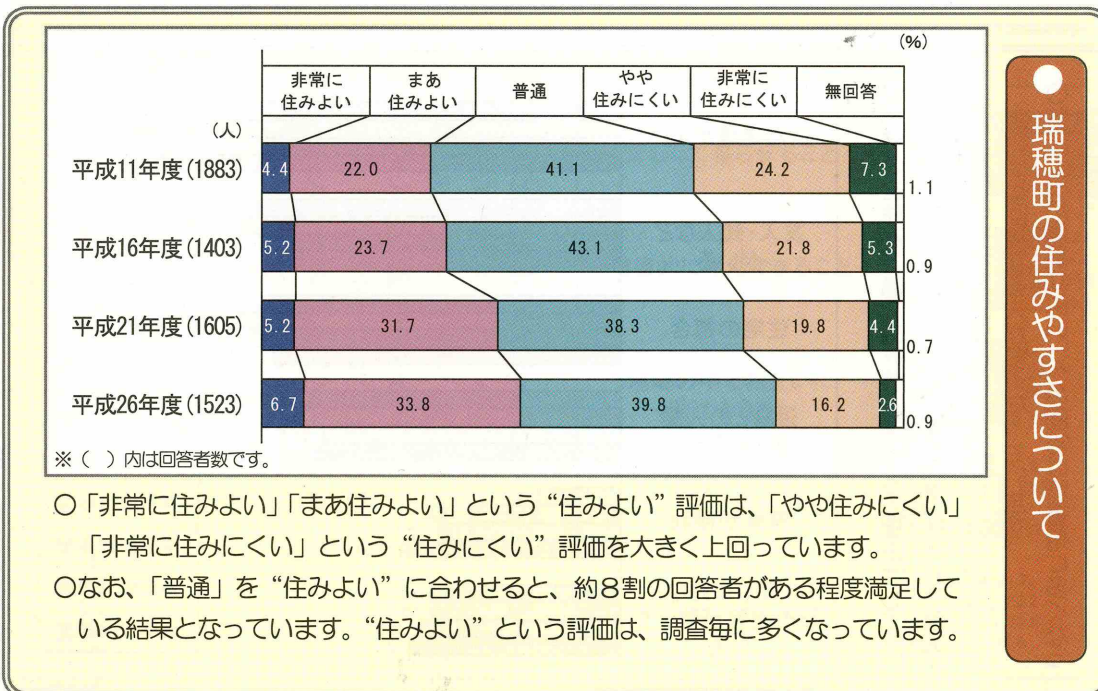
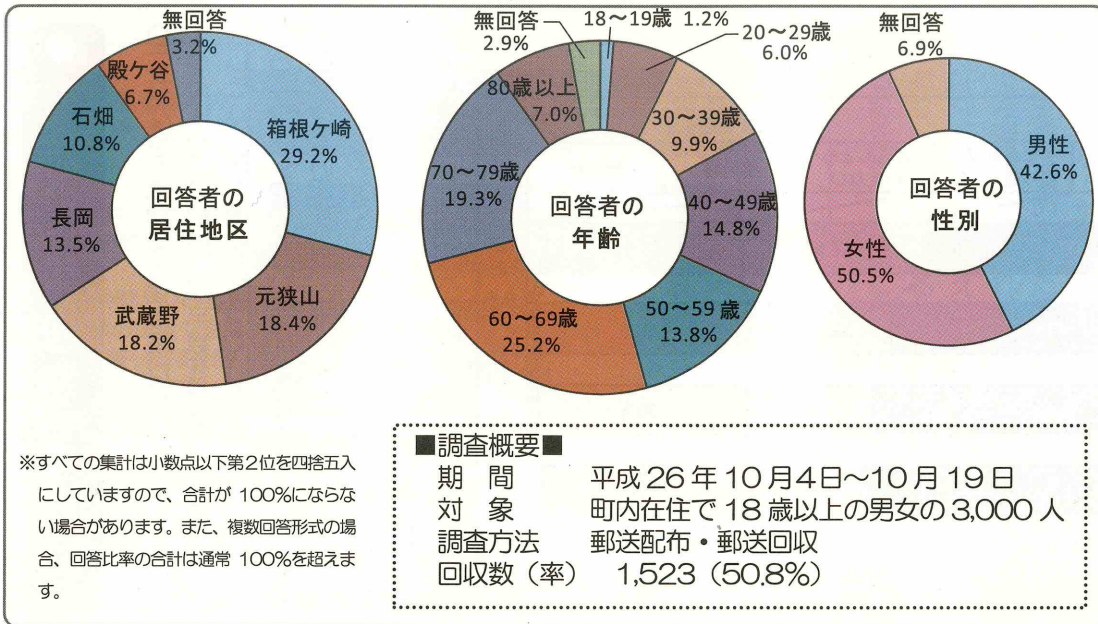


瑞穂町町民意識調査

結果を報告します

町では第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画の策定に当たり、町民の皆さんからまちづくりに関する、町民意識調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。
なお、本調査は5年毎に実施しています。これまでの結果と比較したグラフで表示しています。

調査結果の問合せ：企画部企画課 557・7468

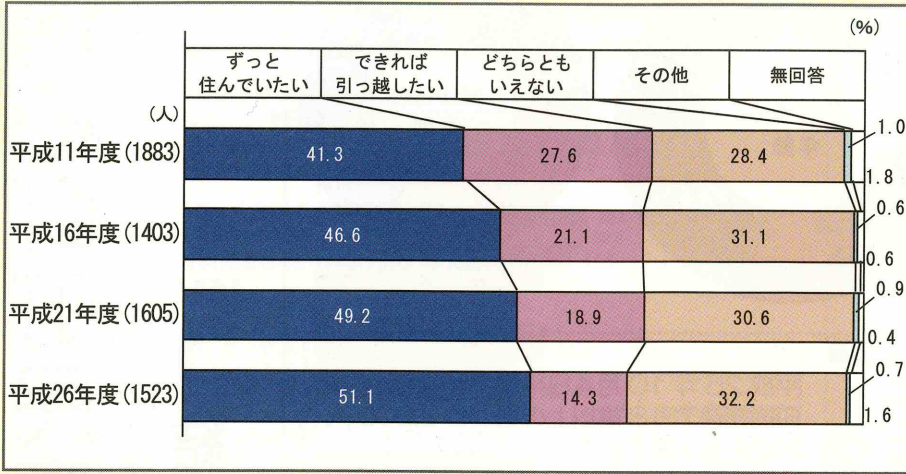


瑞穂町の定住意向について

○これからも瑞穂町に住み続けたいかについては、「ずっと住んでいたい」が半数を超え、「できれば引っ越したい」を大きく上回っています。

○「どちらともいえない」が3人に1人に近い回答割合となっています。

○「ずっと住んでいたい」の回答割合は調査毎に多くなっていますが、「どちらともいえない」も増加傾向にあります。

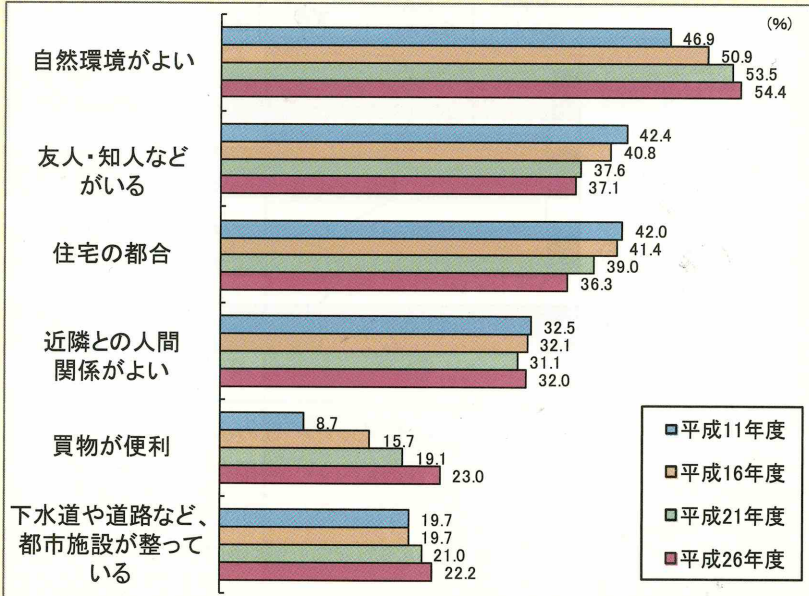


住み続けたい理由について

○「ずっと住んでいたい」と答えた人の理由としては、これまでの調査結果と同様「自然環境がよい」「友人・知人などがある」「住宅の都合」「近隣との人間関係がよい」と回答する人が多くなっています。

○特に「自然環境がよい」への回答は調査毎に多くなっています。

○「買物が便利」「都市施設が整っている」は上位項目ほど回答が多くなっていますが、調査毎に増加する傾向にあります。



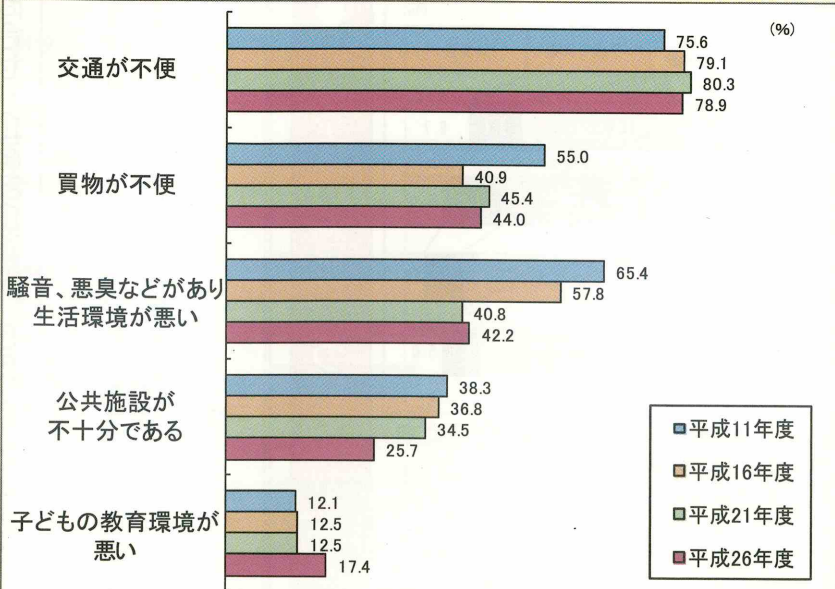
※上位6項目まで掲載。

できれば引っ越したい理由について

○「できれば引っ越したい」と答えた人の理由としては、これまでの調査と同様、「交通が不便」が最も多くなっています。

○また、「買物が不便」も多い傾向に変化はありませんが、「騒音、悪臭などがあり生活環境が悪い」や「公共施設が不十分である」への回答は、前回や前々回の調査よりも減少する傾向にあります。

○なお、「子どもの教育環境が悪い」は、わずかですが増加しました。

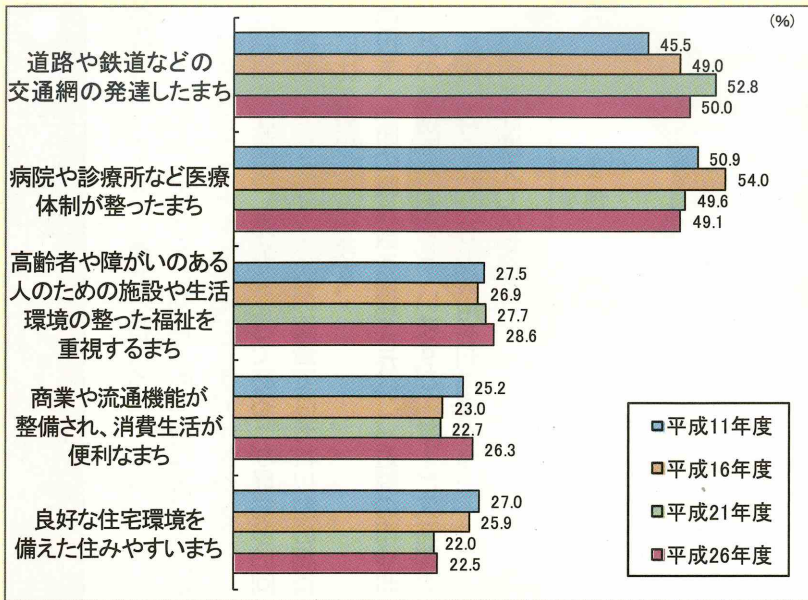


※上位5項目まで掲載。

瑞穂町の将来像について

○町の将来像については、「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」が前回調査と同様最も多くなっています。また、ほぼ同じ割合で「病院や診療所など医療体制が整ったまち」となっています。

○そのほか、「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」「商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち」「良好な住宅環境を備えた住みやすいまち」が続いており、利便性があることも、安心して生活できる町を望んでいることがうかがえます。

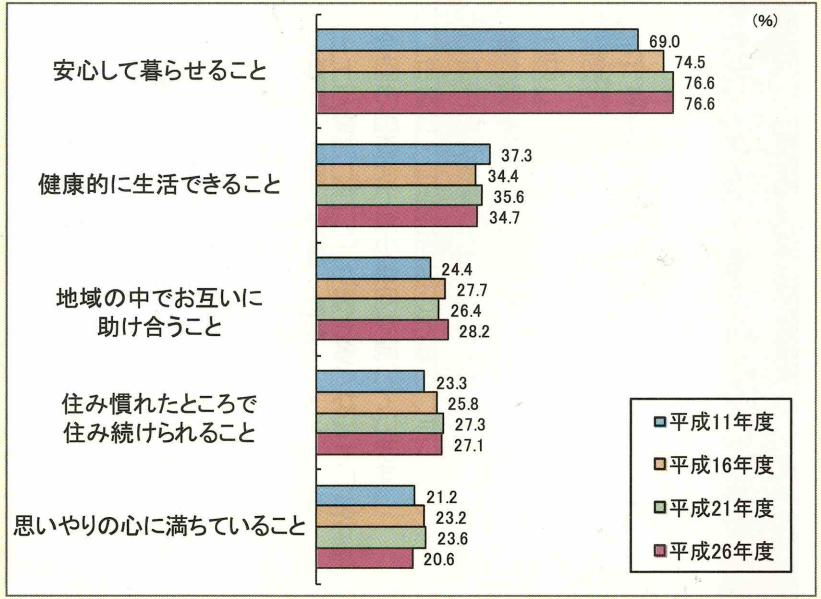


※上位5項目まで掲載。

社会が重視すべきことについて

○これからの社会で重視すべきこととして、「安心して暮らせること」を4人に3人があげており際立って多くなっています。次いで「健康的に生活できること」が続いています。

○また、「地域の中でお互いに助け合うこと」「住み慣れたところで住み続けられること」「思いやりの心に満ちていること」が続いており、これまでの調査結果と同様、地域の中での人とのつながりが重視されている結果となっています。



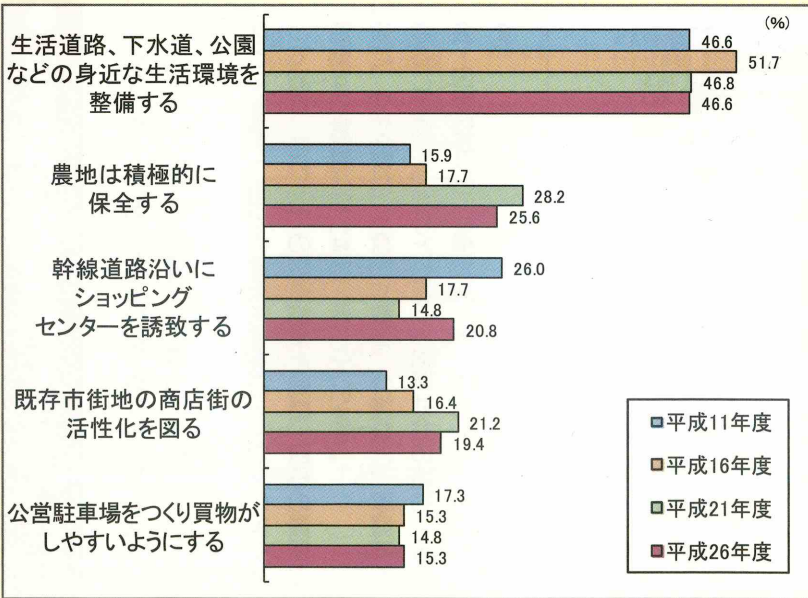
※上位5項目まで掲載。

町の土地利用のありかたについて

○土地利用のありかたについて、「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」がこれまでの調査結果と同様最も多くなっています。

○また、「農地は積極的に保全する」が続いており、農業的土地利用の確保も求められています。

○一方で、「幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する」や「既存市街地の商店街の活性化を図る」も比較的回答割合が多くなっており、生活の利便性が向上することを求める傾向も表れています。

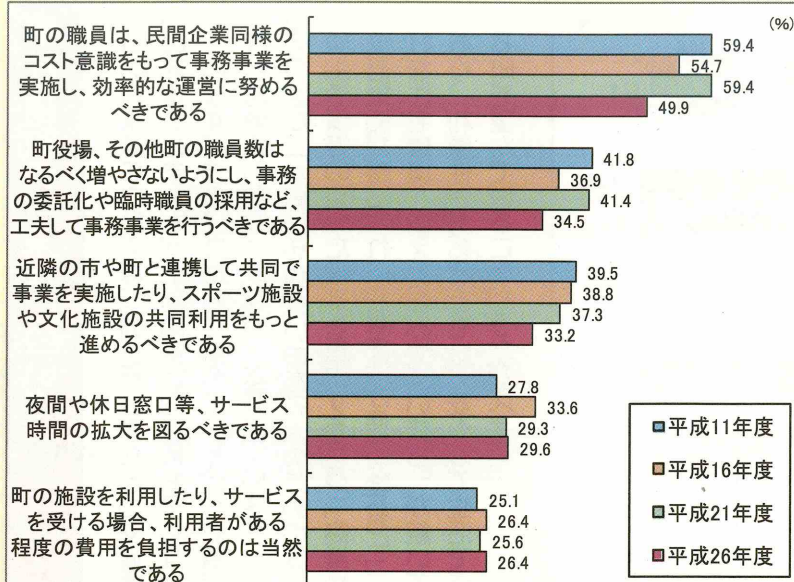


※上位5項目まで掲載。

行政改革の重点について

○行政改革で特に重要と思われることについては、これまでの調査結果と同様、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が最も多い回答割合でしたが、今回の調査ではそれ以前の調査に比べ減少しています。

○以下、「町の職員数を増やさない」「近隣の市や町との連携」も減少していますが「サービス時間の拡大」「サービス等の費用を利用者が負担」はわずかながら増えています。



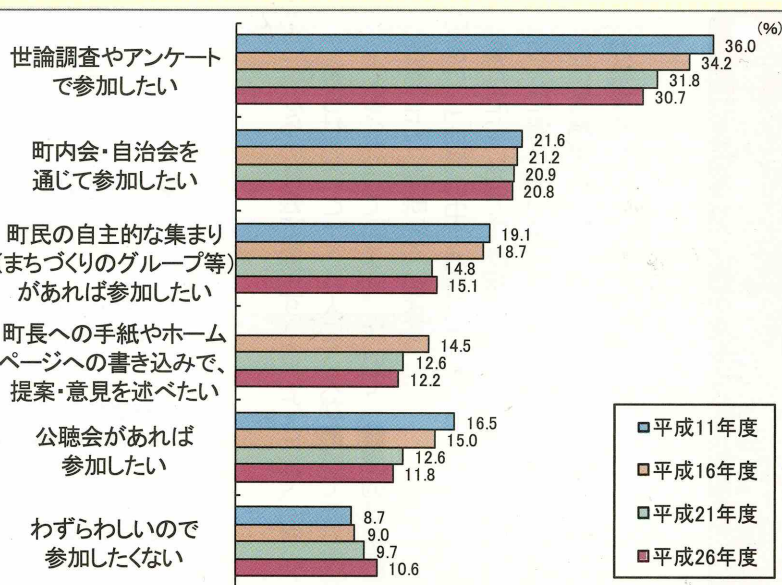
※上位5項目まで掲載。

行政への町民参加について

○行政への町民参加については、「世論調査やアンケートで参加したい」が最も多くなっていますが、今回の調査まで減少傾向が続いています。

○「町内会・自治会を通じて参加したい」や「町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい」は前回調査とほぼ同様の結果となっています。

○全般的に、参加手段の項目が低下する傾向を見せつつありますが、前回に比べ「わからない」との回答が上昇しています。

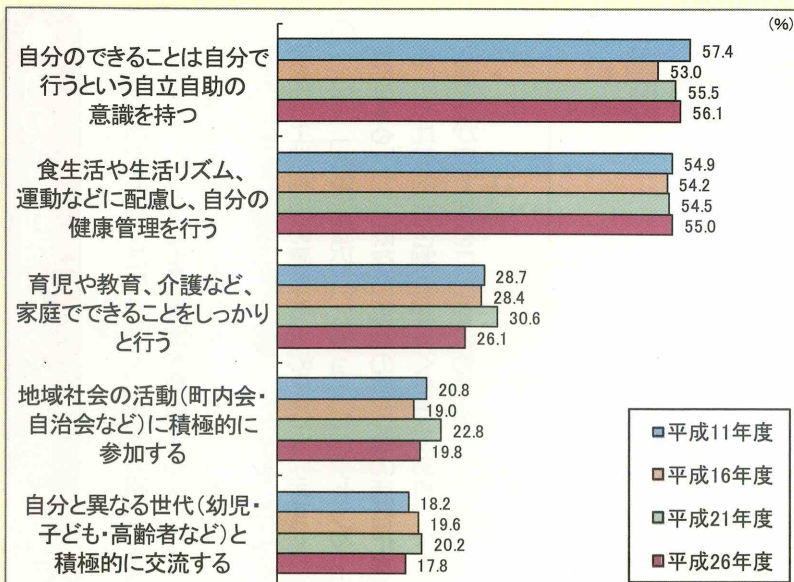


※上位5項目まで掲載。

町民が行いたい活動について

○これからの社会において、自分自身が行いたい活動については、「自分ができることは自分で行う」という自立自助の意識を持つことや「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」が特に多くあり、これまでの調査結果と同様、自らの責任で活動する意識が強い結果となっています。

○また、やや離れて「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」「地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加する」が続いています。



※上位5項目まで掲載。

※調査結果の詳細については、瑞穂町ホームページに掲載しています。